



「広島平和記念式典」に参加して…

新発田市は平成9年に「核兵器廃絶平和都市宣言」を行いました。戦争体験を語り継ぎ、国際平和に寄与する人材を育成するため、中学生を「広島平和記念式典」に派遣しています。今年度参加した10人が「感じたこと」をご紹介します。

【問合せ先】
人権啓発課
(☎ 22-3101)



19 45年8月6日、広島に一発の原子爆弾が投下されました。そして、多くの木々や人の命を奪い去っていきました。僕は今回の事業で平和資料館を訪れました。爆風・熱線による家屋の被害や放射線による人体の影響などを実際に見て、僕はまだ、原爆に対して無知だったなと思い知りました。



加治川中学校3年
菊池美翔さん

今回の経験を通して、原爆の存在をより身近に感じるようになりました。僕も目指したいです。「核なき世界」を。

今 年5月、アメリカのオバマ大統領が現職として初めて広島を訪れ、核廃絶への熱意を表し、安倍首相と並ぶ姿に世界平和への新たな一歩を感じた。そんな今夏、僕は広島平和記念式典に参加し、原爆の恐怖と世界平和について学んだ。



本丸中学校2年
黒坂丈郎さん

式典当日、外国人の数に驚き、世界中の人々の被爆者への追悼の思いを感じた。しかし世界では、今もなお武力紛争が止まず、核保有国が存在する。そんな国々に、僕は核なき平和を訴えていく使命を感じた。

今 回の広島訪問で、改めて原爆の恐ろしさを知りました。戦争や核兵器の使用は多くの人の命を奪い去ります。二度とこのような出来事を繰り返させないために、私たちが行動する必要があると思います。次世代や世界の人々に原爆について語り継いでいくのはもちろんのこと、核兵器廃絶の署名など私たち自身が声を上げる重要性を感じました。



猿橋中学校3年
中倉実悠さん

広島地には何とも言いえない張り詰めた空気がありました。その空気を感じられたのは広島を訪問したからこそであり、貴重な経験となりました。

平 和。僕は平和記念式典に参加し、それについて深く考えさせられました。



豊浦中学校3年
波多野翔馬さん

今から約70年前、争いから広島に一発の原子爆弾が落とされました。その兵器は人々から多くのものを奪いました。僕も資料や多くの遺品を見て、原爆の恐ろしさや当時の情景がよくわかりました。

戦争により落とされた一発の核兵器で多くの人々の人生が狂ってしまいました。そんな残酷な結末を呼ぶ戦争を繰り返してはいけません。僕はこの経験をより多くの人に伝えていきたいです。

「次 の世代の人々は、皆で核兵器はいらないと叫んでください。」



紫雲寺中学校3年
笹川真鈴奈さん

これは、私が式典に参加して一番印象に残った言葉です。戦時中叫ぶことが許されなかった人々の思いを伝えるには、まず、戦争の恐ろしさを知らなければなりません。それは、どれも目を背けたくなるものばかりかもしれませんが、それを続けていては何も始まらないのです。少しずつでも戦争を知り、平和がいつまでも続くよう私たちの声で叫びましょう。

あ の「絶対悪」を許さない。広島市長の平和宣言の中にこうあります。

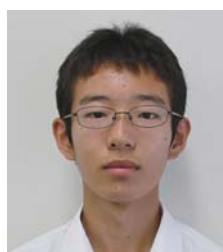


第一中学校3年
滝澤寿太郎さん

僕は初めて、原爆ドームや資料館を訪れて実際の資料に触れました。どの資料からも原爆という「絶対悪」の残酷さや、広島の人々の悲しみが感じられました。

これは実際に見なければ伝わらない、ということではないと思います。だから、今度は僕たちがあの「絶対悪」の惨劇や平和への願いを多くの人に伝えていきたいです。

8 月6日午前8時15分。広島は一発の原子爆弾で壊滅的な被害を受けました。あれから71年たった今年、私は平和記念式典に参列してきました。そこで、原爆の悲惨さや平和への願いを強く感じてきました。今年5月にはオバマ大統領が「核兵器のない世界を追求する勇気を持たなければならない」と訴えました。



東中学校3年
渡邊裕貴さん

もう二度と惨禍を繰り返さないために、そして平和な世界を目指すために71年前の広島を後世にも伝えなければならない。これが私たちの使命だと感じました。

想 像できますか？今から71年前の8月6日午前8時15分。広島に原子爆弾が投下されたあの日のことを。



佐々木中学校3年
渋谷彩鈴さん

たった一発の原爆によって広島の人々の全てが失われました。このことを歴史の1ページとしてしか考えていなかった私は、平和記念式典に参加して改めて日本が唯一の原爆被爆国であることを身に染みて感じ、二度と同じことを繰り返してはならないと強く思いました。この思いを未来につなげ、この先も平和が続くことを願っています。

71 年前の8月6日、広島に一発の原子爆弾が投下され、広島は一瞬にして人々の笑顔を奪われました。私は平和記念式典に参加し、「戦争は誰も幸せに何かしない」「人々の日常を奪うだけ」と感じました。



七葉中学校3年
武者茜さん

資料館にはたくさんの写真や遺品があり、戦争の悲惨さを学びました。

私は今回学んだこと、聞いたことをたくさんの人に話したいです。そして、日本がいつまでも平和であるよう願います。

平 和を願う黙祷を広島で捧げたい。そんな思いで参加した平和記念式典では、多くの方が平和を強く望んでいると感じた。その中には、外国の方も多く、中には米国の方もいた。国境を越え、同じ思いをもってこの場にいる人の多さに、胸が熱くなった。



川東中学校2年
斎藤峰さん

現実とは思えない、原爆によって溶けた瓦や瓶、人の影が焼き付いた壁、ボロボロになった衣服を見て、悲劇を二度と繰り返してはならないと強く感じた。この経験をより多くの人に伝えようと思う。

